

日本レーザー医学会ステートメント

東京医科大学病院におけるレーザー手術中の火災事故について

先日報道がありました東京医科大学病院の高出力レーザー治療中の手術用ドレープ着火による医療事故に関しましては、原因がレーザー治療に関連するものとの発表がなされております。一方で本事故は前例がなく客観的な証拠にも乏しく、そのため東京医科大学の事故報告書には可能性検証のための詳細な実験結果が盛り込まれているものの、原因の特定には至っておりません。しかしながら、レーザー治療中の重大事故であることに鑑み、日本レーザー医学会としては、この事態を深刻に受け止めております。

本学会ではレーザー医療の普及と安全な施行を図る使命から、2001年に安全教育講習会を立ち上げ、レーザー専門医制度を発足させました。さらに、2005年に院内外に対して標榜できる専門医制度に高めました。学会としての専門医制度発足から15年、標榜できる専門医制度発足から11年の実績があります。現在、レーザー専門医資格を保有される医師は全国で203名、指導施設は24施設に上っております。年間2～3回の安全教育講習会を定期的で開催しており、毎年100名以上の受講者がおられます。しかし残念ながら、必ずしもこれらの活動が全ての医療現場に行き届いているとは言えません。

今回の医療事故は、過去に報告例が無い特殊な事象ではありますが、今後、本学会としては安全教育講習・レーザー専門医制度を一層充実させ、より安全で確実なレーザー医療の普及に真摯に取り組んで参る所存です。

2016年10月31日

日本レーザー医学会理事長 古川欣也